

# 市民のがん検診に関する意識調査結果

青森市民の死亡原因の第1位は「がん」です。平成23年の総死亡者数3,309人のうち1,009人のかたが、「がん」で亡くなっています。

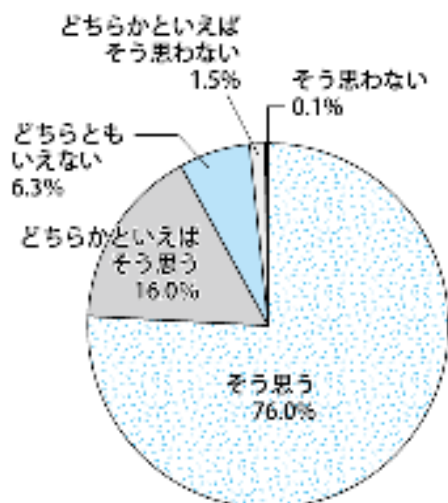
昨年8月、「がん検診」に関して市民の皆さんの関心や考え、受診状況等について現状を把握し、今後の対策に役立てるため、「がん検診に関する市民アンケート調査」を実施しました。今回は調査結果から、特徴的な部分をピックアップしてお知らせします。アンケート調査の詳細については、市ホームページをご覧ください。

☎健康づくり推進課（☎017-743-6111）

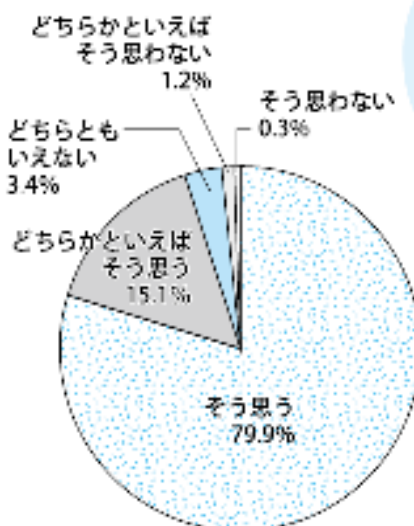
【調査概要】

- ①調査対象：本市に住み票がある  
満40歳以上の男性… 758人  
満20歳以上の女性… 1,242人  
計2,000人  
(年齢は平成25年3月末時点)
- ②回収率：36.5% (729人)

## ▶自分もがんになる可能性があると思いますか？



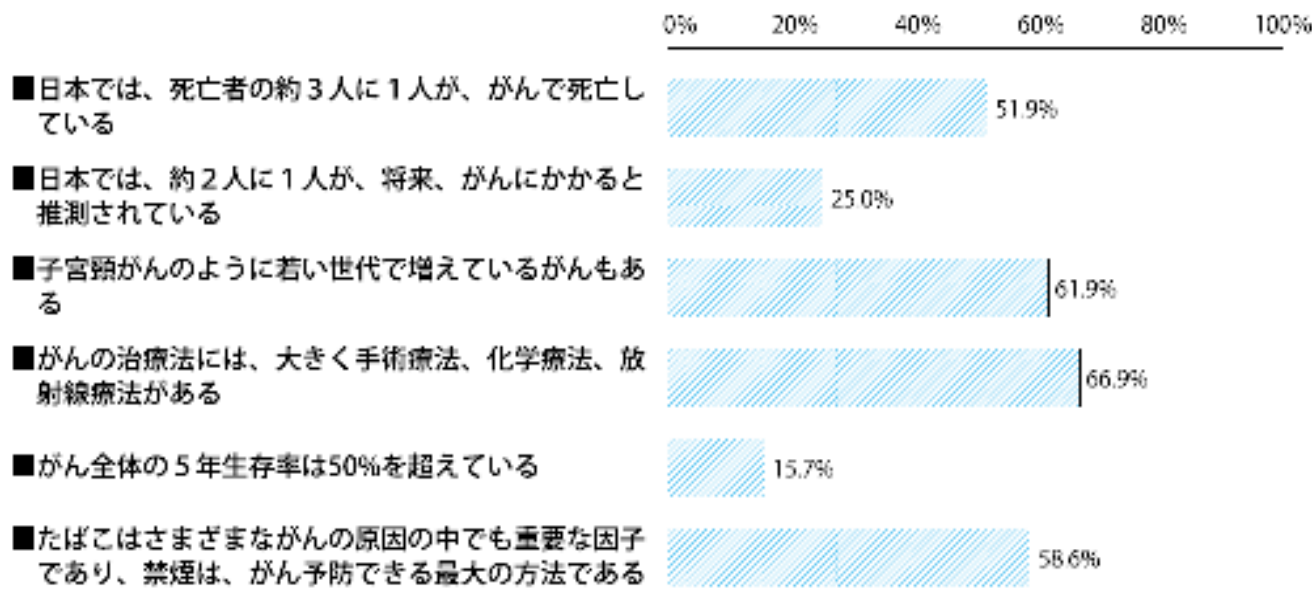
## ▶検診は早期発見・治療につながると思いますか？



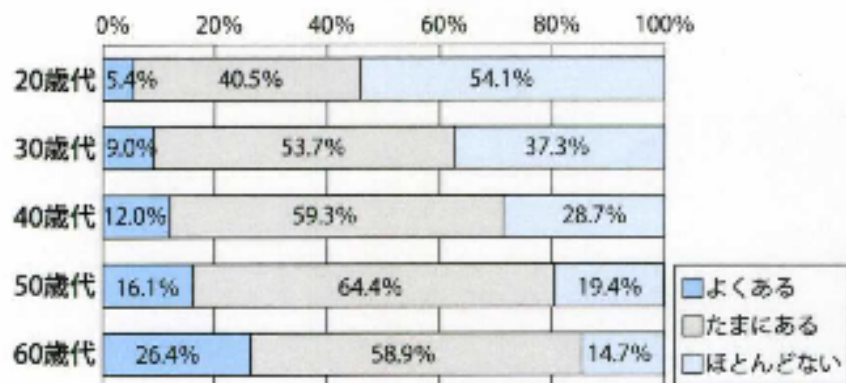
約8割のかたが、自分もがんになる可能性がある、がん検診は早期発見・早期治療につながる、と考えています。



## ▶がんについてあなたが知っていることは何ですか？

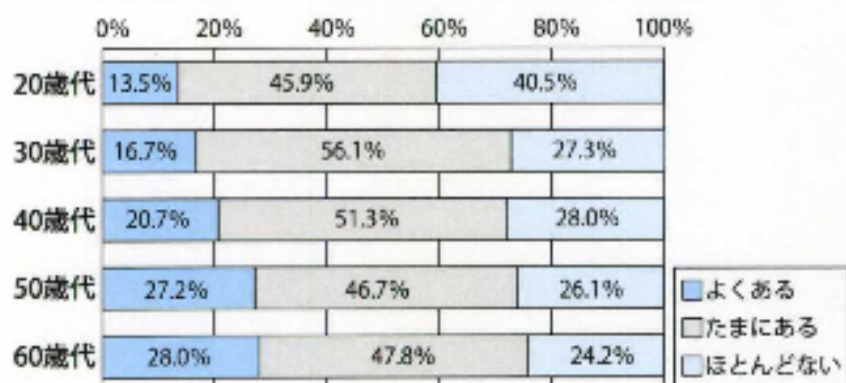


▶がん検診について、  
家族・職場・地域で話題になりますか？



約3割のかたは、検診を勧めたり、勧められたりすることがほとんどないと答えています。自分と家族、仲間が元気であるために、お互いに誘いあったり、話題にすることが大切です。

▶がん検診について、家族・職場・地域で  
受診を勧めたり、勧められたりしますか？



▶がん検診を受診しましたか？

	受けた	受けなかった
胃がん検診	48.3%	51.7%
大腸がん検診	47.7%	52.3%
肺がん検診	53.0%	47.0%
乳がん検診	43.4%	56.6%
子宮がん検診	43.6%	56.4%

がん検診の大切さは分かっているにもかかわらず、約半数のかたが、検診を受けていないのが現状です。受けなかった理由として多いのが、「症状がないので必要性を感じない」でした。

医学の進歩等により、がんは現在、約50%のかたが治るようになりました。特に症状のない、初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で治ります。

▶がん検診を受けなかった理由は？

(上位3位)

	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん検診
1位	症状がないので必要性を感じない	症状がないので必要性を感じない	症状がないので必要性を感じない	たまたま受けていなかった	症状がないので必要性を感じない
2位	たまたま受けていなかった	面倒だから	たまたま受けていなかった	症状がないので必要性を感じない	たまたま受けていなかった
3位	面倒だから	たまたま受けていなかった	心配な時はいつでも医療機関を受診できる	面倒だから	面倒だから



青森市のがん検診は通年で受けられます。  
あなたと、あなたの大切な家族のため、症状がないときこそ「がん検診」を受けましょう！